

漁海況月報

令和2年8月1日

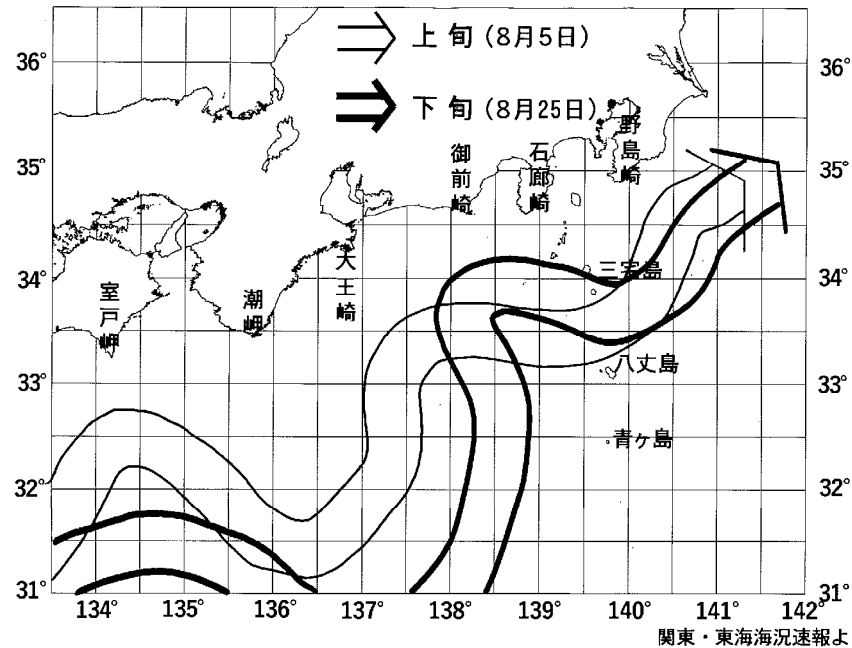
No.8 ~8月31日

静岡県水産・海洋技術研究所

(電話 054-627-1815)

静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場

(電話 0558-22-0835)



関東・東海海況速報より

8月定地水温の旬平均値() (下段は平年偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	24.5	23.6	24.1	27.1	26.9	25.4
	-0.4	0.4	0.4	1.8	1.7	0.0
中旬	25.8	24.9	24.7	27.5	29.0	28.1
	0.5	0.8	0.4	1.8	3.3	2.5
下旬	27.2	26.4	26.3	27.1	26.6	27.6
	2.1	2.1	1.9	1.2	0.5	2.0
月	25.9	25.0	25.0	27.2	27.5	27.2
	0.8	1.1	0.9	1.6	1.8	1.7

*地頭方の水温観測は終了しました。

【黒潮流路】

8月を通じてA型で、潮岬を大きく離岸し、29.5-31°N付近まで南下した後、遠州灘～御前崎沖まで北上し、三宅島-八丈島間を通過して北東へ流去した。

上旬は31°N付近まで南下した後、S字状に遠州灘沖を北上する流路となり、熊野灘～遠州灘沖、大島西水道に向けて暖水波及が見られた。

中旬は29.5°N付近まで南下した後、S字状に熊野灘～遠州灘を北上する流路となり、遠州灘～石廊崎沖、駿河湾、大島西水道に向けて暖水波及が見られた。

下旬は29.5°N付近まで南下した後、御前崎沖まで北上する流路となり、遠州灘、大島西水道に向けて暖水波及が見られた。

【県下沿岸域】

上旬は伊東、稲取、下田、焼津が「平年並」、雲見、沼津が「高め」であった。中旬は下田が「平年並」、伊東、稲取が「やや高め」、雲見が「高め」、沼津、焼津が「かなり高め」であった。下旬は雲見、沼津が「やや高め」、それ以外が「高め」であった。

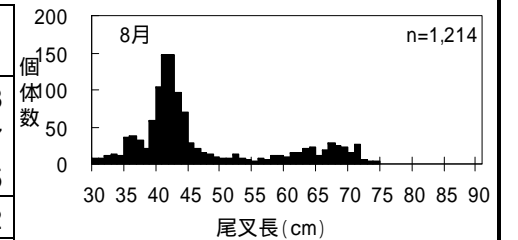
【竿釣りカツオ】

8月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは110.4トンで前年同月(114.7トン)の98%であった。魚価は532円/kgで前年同月(237円/kg)を上回った。

漁場は33.5-34°N、138.5-139.5°Eの伊豆諸島周辺海域などであり、御前崎港で測定した魚体サイズは、極小(尾叉長42cm)を主体に、小(尾叉長43cm)、チン(尾叉長36cm)、特大(尾叉長67cm)、大(尾叉長64cm)などであった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
R2年8月上旬	35.0	24	1.5	598
中旬	37.4	10	3.7	507
下旬	38.0	25	1.5	495
R2年8月計	110.4	59	1.9	532
R元年8月計	114.7	19	6.0	237
H30年8月計	103.3	29	3.6	193



御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚げ量は194.7トンで前年の同漁場の水揚げ量(237.3トン)の82%であった。また、1か統あたりの水揚げ量は、27.8トンで前年(33.9トン)の82%、平年(46.1トン)の60%であった。水揚げ量が多い漁場は、北川漁場(59.0トン、さば類、マルソウダ、ウルメイワシ)次いで赤沢漁場(44.6トン、さば類、ウルメイワシ、クサヤモロ)であった。

多獲された魚種の水揚げ量は次頁(表)の通りで、さば類は86.8トンで、前年比95%、平年比65%であった。このうち、ゴマサバは86.6トン、前年比96%、平年比67%であった。ウルメイワシは30.7トン、前年比5.9倍、平年比4.8倍で、8月の水揚げ量としては昭和57年以降、最も多かった。マルソウダは21.0トンで、前年比1.6倍、平年比99%であった。クサヤモロは8.4トンで、前年比38%、平年比6.2倍であった。イサキは6.7トンで、前年比2.3倍、平年比1.9倍であった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁(表)の通りで、各漁場の水揚げ量の割合は、さば類では赤沢漁場が27%(23.2トン)、北川漁場が25%(22.0トン)、ウルメイワシでは古網漁場が27%(8.2トン)。

北川漁場が23% (7.2トン)、赤沢漁場が22% (6.6トン)、富戸漁場が15% (4.5トン)、マルソウダでは北川漁場が92% (19.3トン)、クサヤモロでは赤沢漁場が36% (3.0トン)、富戸漁場が35% (2.9トン)、北川漁場が17% (1.4トン)、イサキでは谷津漁場が72% (4.9トン)、北川漁場が18% (1.2トン)を占めた。
* 平年：昭和57年～令和元年の平均値

(表) 多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
さば類	86.8	0.95	0.65	赤沢、北川
ウルメイワシ	30.7	5.93	4.82	古網、北川、赤沢、富戸
マルソウダ	21.0	1.60	0.99	北川
クサヤモロ	8.4	0.38	6.18	赤沢、富戸、北川
イサキ	6.7	2.26	1.93	谷津、北川

[サバ棒受網]

小川港所属の棒受網漁船は月を通じて棒受網主体で操業した。漁場は、上旬はひょうたん瀬、中旬はひょうたん瀬、三本、下旬は三本に形成された。水揚量はゴマサバ215トン(前年同月比1349.9倍)であり、1隻あたり水揚量は8.9トン(前年同月0トン)であった。マサバの水揚は無かった(前年同月水揚無し)、1kgあたり平均単価は、ゴマサバは122円で前月(134円)を下回り、前年同月(88円)を大きく上回った。

水揚げされたゴマサバの体長組成は32cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(棒受網漁業)水揚量

期間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R2年8月上旬	-	156	4	12	-	13.0	-	120	ひょうたん瀬
中旬	-	21	2	4	-	5.3	-	129	ひょうたん瀬、三本
下旬	-	38	3	8	-	4.7	-	125	三本
R2年8月計	-	215	9	24	-	8.9	-	122	ひょうたん瀬、三本
R元年8月計	-	0	4	10	-	0.0	-	88	-
H30年8月計	-	58	4	9	-	6.4	-	98	ひょうたん瀬

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

*表中の「-」は水揚げがなかったこと、「0」は水揚げがごく僅かであったことを示す。

[シラス船曳網]

県内主要6港における1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が438kg/統、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が549kg/統であった。主要6港全体では499kg/統と前年同月(276kg/統)の1.8倍、平年同月(過去5か年平均:211kg/統)の2.4倍であった。また、水揚量は1,169.6トンで前年同月(286.8トン)の4.1倍、平年同月(217.5トン)の5.4倍と、前年、平年同月を上回った。平均単価は565円/kgと、前年同月(808円/kg)の69.9%、平年同月(1,018円/kg)の55.5%と、前年、平年同月を下回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁港	水揚量(トン)	延日数	延統数	1か統当たり水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新居	83.2	14	170	489	493
舞阪	271.5	14	535	507	583
福田	206.3	15	401	515	599
御前崎	142.6	16	176	810	454
吉田	317.6	21	569	558	512
静岡	148.4	22	494	300	744
R2年8月計	1,169.6	102	2,345	499	565
R元年8月計	286.8	51	1,039	276	808
H30年8月計	317.4	56	1,229	258	1,394

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年同期：過去5か年(平成27～令和元年)平均値

*1そう曳きの場合は1隻で1か統、2そう曳きの場合は2隻もしくは運搬船を含んだ3隻で1か統とする。

[まき網(いわし類)]

マイワシの水揚量は、静岡港では0.1トン(前年同月比3.3倍、平年同月比10.0倍)、小川港では41.1トン(前年同月比37,377.3倍、平年同月比39.6倍)、伊東港、沼津港では水揚げが無かった。カタクチイワシは、沼津港では0.03トン(前年同月水揚げ無し、平年同月比2.4%)、伊東港、静岡港、小川港では水揚げが無かった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは2.8トン、カタクチイワシは5.0トンであった。
*平年：過去5か年(平成27～令和元年)平均値

[調査船駿河丸の動向]

8月 3日 ~ 8月 5日	地先定線観測調査	(3日間)
8月 6日 ~ 8月 7日	サクラエビ調査(卵数法)	(2日間)
8月 17日 ~ 8月 18日	サクラエビ調査(卵・幼生)	(2日間)
8月 19日 ~ 8月 20日	サクラエビ調査(卵数法)	(2日間)
8月 21日	県民の日一般公開	(1日間)
8月 24日	ドックへ回航(藤高造船株式会社)	(1日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星 NOAA の海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

